

# 地 域 連 携 だ よ り

彦根市立病院  
〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地  
TEL : 0749-22-6050(代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室  
TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093

いつもありがとうございます

## 我ら 皮膚科診療の エキスパートです

皮膚科 部長 古田 未征  
医員 速水 拓真



皆さま方には、常日頃から病診連携にご協力いただき誠にありがとうございます。

当院の皮膚科は、昭和35年から湖東地域の皮膚科診療を担っておりましたが、一時皮膚科専門医の常勤が不在となったため大変ご迷惑をおかけしました。このたび前任の福永医師の退職、米田医師の転勤にともない、本年4月より草津総合病院で皮膚科部長を務めておりました古田が皮膚科部長として、滋賀医科大学附属病院皮膚科で助教を務めておりました速水医師が赴任し、常勤2名の体制で診療しています。

また、第4週の水曜日には、新しく滋賀医科大学皮膚科教授に就任された藤本教授が引き続き膠原病などの皮膚難病の診療を行っています。当科ではアレルギー疾患、皮膚感染症などから皮膚腫瘍まで、全ての皮膚疾患について診療しています。皮膚疾患に悩んでおられる患者さまに寄り添い、QOLの改善を目指しより良い診療を提供していく所存であります。今後も滋賀医科大学と連携し、湖東地域の先生方の診療の手助けとなるように努力してまいりますので、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

# いつでもご紹介ください！



## ◆ アレルギー検査について

当院では、アレルギー検査については血液検査によるアレルゲンの精査のほか、遅延型アレルギーについては標準金属17種類についての金属パッチテスト試薬、ジャパニーズスタンダードアレルゲンについてのパッチテストパネルを用意しています。歯科金属によるアレルギー症状やさまざまな環境因子による接触性皮膚炎について精査させていただきます。

## ◆ 全身照射型紫外線照射装置について

当院は、ナローバンドUVBとUVAを同時に照射可能な**全身照射型紫外線照射装置**を所有しており、広範囲の皮膚症状を有する**尋常性乾癬**や**アトピー性皮膚炎**、**尋常性白斑**などの治療に対応可能です。



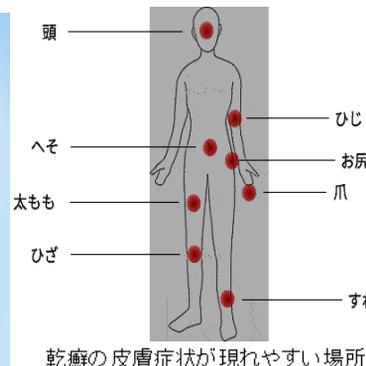
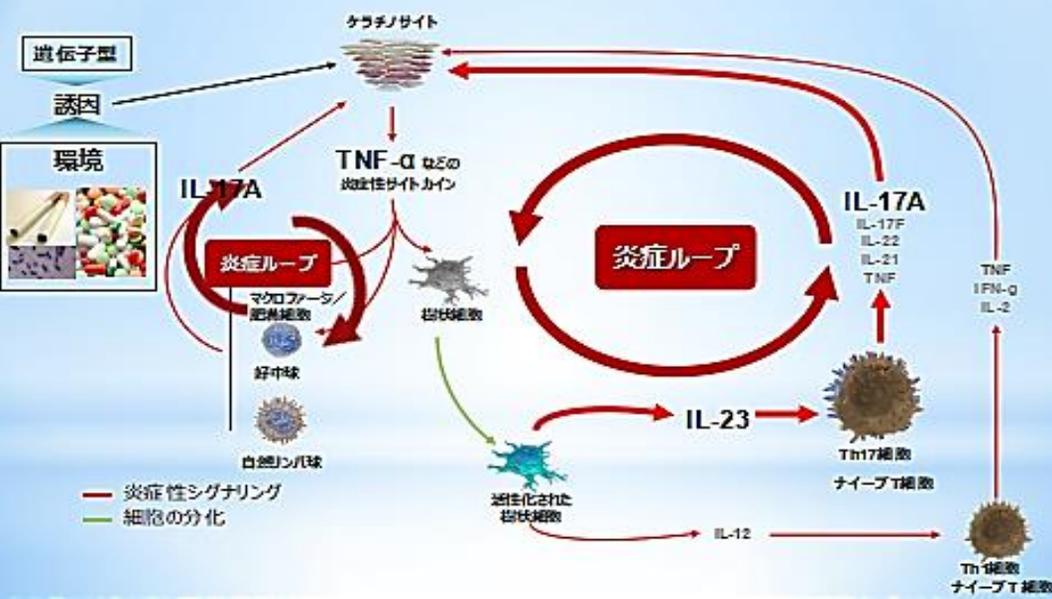
## ◆ 生物学的製剤の使用について

当院は、この数年急速に開発されてきた、サイトカインの働きを抑制する生物学的製剤について薬剤の使用を日本皮膚科学会に認定されています。この後ご紹介させていただく、難治性の尋常性乾癬、乾癬性関節炎やアトピー性皮膚炎にも優れた効果が期待できますので**生物学的製剤による治療**をお考えの際は当院へ紹介していただくと幸いです。

# 乾癬特集

## ◆ 乾癬の概要と治療について

### 乾癬の免疫学的病態の概要

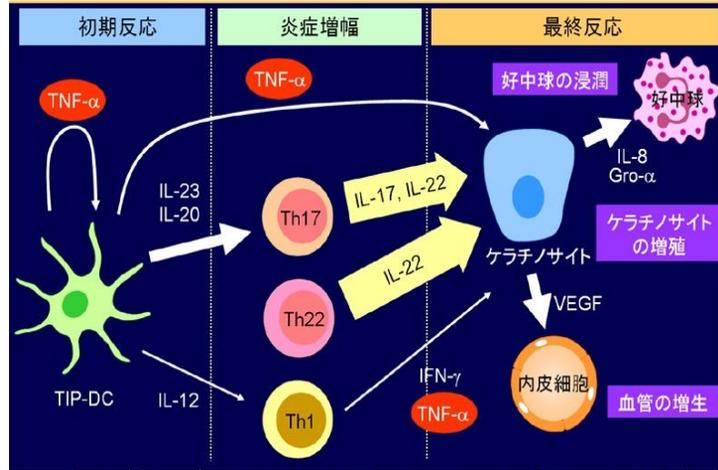


- ・皮膚が赤くなって盛り上がる紅斑
- ・皮膚表面が厚く盛り上がる肥厚
- ・周囲が銀白色のふけのような鱗屑

# 乾癬における生物学的製剤による治療の効果

乾癬では、遺伝的要因および環境的要因によりケラチノサイトによる炎症性サイトカインの放出が誘発され、乾癬の病変形成に関与していると考えられています。現在、複数の遺伝子座が乾癬発病の候補遺伝子領域として報告があり、このようなもとの遺伝的な素因に加え、ストレス・外傷・喫煙・薬剤などの環境的要因が関係して乾癬発症のきっかけになると考えられています。

このケラチノサイトから放出されたTNF $\alpha$ などの炎症性サイトカインが、樹状細胞を活性化させます。活性化された樹状細胞から産生された種々のサイトカインがTh17やTh22、Th1などのTリンパ球に作用して、様々なサイトカインを産生し、ケラチノサイトに作用して表皮の肥厚・増殖を誘導します。またこれらのサイトカインは、ケラチノサイトからのTNF $\alpha$ などの炎症性サイトカインの産生をさらに亢進させ、これが樹状細胞を活性化するため、炎症のループを形成し乾癬の病変形成が進みます。



生物学的製剤は、乾癬の病態において産生されるサイトカインを抑制し、乾癬の病態形成を抑制すると考えられています。現在、TNF $\alpha$ 、IL17、IL22などのサイトカインを抑制する製剤が使えるようになり、重症の乾癬の治療についても大きな効果が期待できるようになりました。

ただし生物学的製剤を使用する際は、結核など感染症の発症などのリスクがあり、使用について日本皮膚科学会からの認定が必要となっています。

## ➤ 注射療法【生物学的製剤】

### ➤ 内服療法

PDE4阻害剤薬  
レチノイド製剤  
免疫抑制剤  
疾患修飾性抗リウマチ薬

### ➤ 光線療法

全身照射型紫外線照射装置

### ➤ 外用療法

ステロイド外用薬  
ビタミンD<sub>3</sub>外用薬  
配合剤

外用薬や内服薬など、これまでの治療で十分な効果が得られなかった患者さまに、生物学的製剤を使用することで症状の改善を図り、QOLが高められるよう治療してまいりますので、ぜひご相談ください。

～皮膚科～

## 治療経過にともなう皮膚症状の変化



乾癬は、見た目や「カンセン」という名前から「うつる病気なのでは？」と誤解されたり、周囲の目が気になって学校や会社に行くのがつらくなってしまふなど、精神的なストレスを抱えてしまうことも大きな問題の一つです。この精神的・身体的ストレスで生活の質(QOL)がとても落ちてしまうことがあります。実際、乾癬の方は、高血圧や糖尿病、心筋梗塞、癌などの病気の方よりも生活の質が落ちるともいわれています。

しかし近年では、乾癬の発症原因の解明も進みつつあり新しい治療法も開発され、患者さまの選択肢は広がっています。症状の程度だけでなく、ライフスタイルやご希望を考慮し、主治医と一緒に患者さまが満足できる適切な治療法を探すが、乾癬を改善させる近道です。お困りの患者さまに寄り添い、適切な治療計画を立てて、患者さまがよりよい社会生活を送りやすいように、ともに歩んでまいりたいと考えております。

**皮膚科：月～金  
午前中初診へ**

◆外来のご案内（地域医療連携室経由で予約）

紹介患者さんは事前に診療予約をお願いします

地域医療連携室へ  
事前に予約していただくと  
優先して対応させて  
いただきます。

- ①地域医療連携室に連絡していただき診療予約
- ②紹介状を持参し受診

**ご紹介よろしくお願ひします！**

- ・専用窓口で優先的に受付
- ・各ブロックで優先的に呼び込み
- ・専用窓口で優先的に会計

## New Face! 新任医師紹介

このたび新しく彦根市立病院で働くことになりました。皆さまよろしくお願ひいたします。



歯科口腔外科  
東郷 由弥子

- ◆大学卒業年 : 2002年
- ◆専門分野 : 口腔外科全般
- ◆専門医 : 日本口腔外科学会専門医
- ◆所属学会 : 日本口腔外科学会 日本顎変形症学会  
日本口腔インプラント学会
- ◆自己PR : 体力には自信あり。毎週2時間かけてやってきます
- ◆趣味 : ゴルフ♪ 旅行✈️ お酒🍷
- ◆抱負 : 口腔外科医として地域医療に貢献できるよう頑張ります
- ◆座右の銘 : 為せば成る

### 8月～10月をもって退職となった医師

- 脳神経外科 : 中嶋 広太
- 脳神経外科 : 宮田 武

今までお世話になりました。  
本当にありがとうございました。